

令和6年度
八戸圏域広域的体験学習支援事業
「発見！ふるさと体験隊（はっふる隊）」
【中学校】実施要項



八戸市教育委員会

令和6年度八戸圏域広域的体験学習支援事業
「発見！ふるさと体験隊（はっふる隊）」【中学校】実施要項

- 1 目的**
- ・圏域内の中学校のキャリア教育を推進するため、八戸圏域連携中枢都市圏内にある地域企業等を訪問しての社会体験活動の実施を支援する。
 - ・地域企業等の魅力を創出するとともに、中学生に地域企業等の魅力を伝える。
- 2 内容**
- ・八戸圏域連携中枢都市圏内の中学校が、圏域内にある地域企業等での社会体験活動を行う際のバス借り上げ料を負担する。
 - ・各学校一個学年を対象として台数を設定する。
- ※小規模校による複数学年の体験学習は、バス1台で収まる人数（大型で55人程度）とする。
- ※体験に係る材料費や体験料等は補助対象外とする。

3 本事業で利用可能なバス会社

①三八五バス株式会社	<TEL0178-24-3331>	略称「三八五バス」
②三八五交通株式会社	<TEL0178-24-3335>	略称「三八五交通」
③岩手県北自動車株式会社南部支社	<TEL0178-20-0160>	略称「南部バス」
④株式会社北日本中央観光バス	<TEL0178-88-1515>	略称「北日本バス」
⑤株式会社 東北都市交通	<TEL0178-80-7925>	略称「東北都市交通」
⑥寺下運輸倉庫株式会社	<TEL0178-56-4611>	略称「寺下運輸バス」
⑦十和田観光電鉄株式会社(十和田観光バス)	<TEL0176-23-3132>	略称「十和田観光」

※市町村所有バス利用の場合：「公用バス」

4 実施までのスケジュール

4月3日(月)より	<p>○訪問先の決定、バスの予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の検討 ・訪問先との打合せ ・バス予約 ・予約終了後、速やかに「広域的体験学習計画書」を電子媒体にて、担当指導主事へ提出 <p>※冬期休業前実施分：体験学習を行う2週間前まで 冬期休業後実施分：1月31日(金)正午まで</p>
4月26日(金) ※開始予定	<p>○企業体験開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰校時、バス運転手より「乗車証明書」の提示があるので内容を確認の上署名 ・体験学習終了後、速やかに「広域的体験学習報告書」を電子媒体にて、担当指導主事へ提出 <p>※4月26日(金)前に実施した体験学習は、「はっふる隊」の対象となりません。バス代は、各校の負担となりますので御注意ください。</p>

5 訪問先の検討について

① 青森県教育支援プラットフォーム

・「我が社は学校教育サポーター」事業

→ 学校を訪問しての「出前授業(職業講話)」、企業等を訪問しての「職場見学」、企業等の仕事を体験する「職場体験」を実施

※「我が社は学校教育サポーター」で検索

申込方法

- (1) 「我が社は学校教育サポーター」企業一覧から、企業の提供できる取組を調べ、希望する企業を選択する。
- (2) 「紹介連絡票」(ホームページよりダウンロード)をプラットフォーム事務局へFAX送信する。(企業によっては直接連絡が必要な場合あり)
- (3) プラットフォーム事務局との打合せ。その後、プラットフォーム事務局が学校と企業を仲介する。
- (4) バスの予約をし、教育指導課へ「計画書」を提出する。
- (5) 活動を実施する。
- (6) 終了後、プラットフォーム事務局へ「活動報告書(A4版1ページ)」(ホームページよりダウンロード)を、教育指導課へ「報告書」を提出する。

② 学校独自で計画

申込方法

- (1) 各学校で、地域企業等と連絡・調整を行い、内容・日程を決定する。
- (2) バスの予約をし、教育指導課へ「計画書」を提出する。
- (3) 活動を実施する。
- (4) 教育指導課へ「報告書」を提出する。

※各市町村の産業担当課が、訪問先検討の際に参考となる企業リストを作成している場合があります。

(例：八戸市産業労政課「はちのへ地元企業ファンづくりプロジェクト」)

【担当】

八戸市教育委員会

教育指導課実践支援グループ

主任指導主事 馬 渡 正 仁

TEL 43-9519(直通) FAX 47-4997

E-mail umarex@hec.hachinohe.ed.jp

広域的体験学習支援事業（中学校）

八戸圏域連携中枢都市圏内の中学校のキャリア教育を推進するため、圏域内にある地域企業等を訪問しての社会体験活動の実施を支援する。企業等を訪問する際のバス借り上げ料を、各学校一個学年を対象として台数を設定する。

（農業や水産業体験等も内容によっては対象となります。体験に係る材料費や体験料等は補助対象外）

※八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）

「発見！ふるさと体験隊（愛称：はっふる隊）」

八戸圏域広域的体験学習支援事業

はっふる隊

【令和5年度活用実績】

○学校独自で訪問先を決定

八戸市：小中野中学校

訪問先：八戸市美術館、八戸市公会堂

○NPO法人RENの支援を受けて決定【八戸市のみ】

学 校：長者中学校、白銀南中学校、根城中学校、北稜中学校、是川中学校、
明治中学校、東中学校、島守中学校

訪問先：旭光通信システム、サンコンピュータ、東京鐵鋼、八戸精錬、北日本鍍金、
三菱製紙、八戸中央青果、北日本造船、八戸工業大学、八戸学院大学

○八戸市産業労政課の支援を受けて決定【八戸市のみ】

学 校：湊中学校

訪問先：桜総業、UDトラックス、住友電子ワイヤー、天摩、八戸セメント、東北電力、
多摩川精機八戸インテリジェントプラザ、朝もやの館

【感想】

- ・本校は小規模校であるため、保護者の負担を考えると貸切バスの利用は難しいが、本事業を活用することで、保護者の負担なく体験学習が実施できる。
- ・学区外の事業所での職場体験ができた。
- ・地元には素晴らしい企業があることを知るいい機会になった。また、大学での学食体験や授業体験など、中学生でも楽しんで体験できるプログラムだった。
- ・八戸工業大学でのリケジョの話は大変興味深かった。体験や演習が豊富で、特別な支援を要する生徒も取り組みやすい内容だった。



北日本造船
企業訪問



北日本造船
企業訪問



八戸工業大学
大学見学



八戸学院大学
大学見学

令和6年度 広域的体験学習 計画書

【中学校】

学校名	八戸市立〇〇中学校		担当者	〇〇 〇〇	連絡先 電話番号	0178-〇〇-〇〇〇〇
体験日	体験学年	人数	活動時間	利用バス会社	協力地域企業名	備考 (その他に立ち寄る場所等)
月	1年	生 数	出発時刻)	三八五バス	八戸液化ガス株式会社 体験学習を行う企 業等を記入する。	八食センター(昼食) その他寄る場所があ ればここに記入する。 代表引率者(職・氏名) 教諭 〇〇 〇〇
日	2年	教 他	9:00	(台数)		
6	3年	85	15:30	2		
7	〇	5	到着時刻)	(見積金額)		
火		0		¥132,000		
訪問先決定の仕方	NPO法... (REN)「中学生による地域企業と大学の見学会」の活用 プルダウンより選択					
体験内容について (簡単に)	企業等や事業主と打ち合わせたことにつ いて、箇条書き等で簡単に記入する。					

【記入上の注意】

- 企業等との打合せ後、バス会社の予約が完了したら、この計画書に決定事項を打ち込む。
- データを打ち込み後、遅くとも下記の期日までに、担当まで内部メール(八戸市内)またはEメール(三戸郡・おいらせ町)にて添付ファイルを送付する。

【計画書の締切日】

- ・冬季休業前：体験学習を行う2週間前
- ・冬季休業後：1月31日(水)正午締切
- 小規模校による複数学年の体験学習は、バス1台で収まる人数(大型で55人程度)とする。
- 体験学習以外の施設も訪問・見学等をする場合は、備考の欄に打ち込むこと。

【担当】
 八戸市教育委員会
 教育指導課実践支援グループ
 主任指導主事 馬渡 正仁
 TEL 43-9519(直通) FAX 47-4997
 E-mail umarex@hec.hachinohe.ed.jp



令和6年度 広域的体験学習 報告書

【中学校】

学校名	八戸市立〇〇中学校	担当者	〇〇 〇〇	連絡先 電話番号	0178-〇〇-〇〇〇〇
-----	-----------	-----	-------	-------------	--------------

月	日	曜日	体験学年			人数		活動時間 (出発時刻) ~ (到着時刻)	利用バス会社	訪問地域企業名	備考 (その他に立ち寄る場所等)	
			1年	2年	3年	生徒	教員					合計
6	7	火		○		85	5	0	90	三三五バス (台数) 2 台	八戸液化ガス株式会社 代表引率者(職・氏名)	計画書と変更があった場合は、変更した内容を記入してください。
今後の事業の充実に向けて、体験後の感想や要望等を御記入ください。												

次年度以降の事業充実のため、御協力をお願いします。

【記入上の注意】

- 体験学習終了後、2週間以内にこのデータを作成し、担当まで内部メール(八戸市内)またはEメール(三戸郡・おいらせ町)にて添付ファイルで送付する。
- 小規模校による複数学年の体験学習は、バス1台で収まる人数(大型で55人程度)とする。
- 体験学習以外の施設も訪問・見学等した場合は、備考の欄に打ち込むこと。
- その他御不明な点は、右記担当まで連絡ください。

【担当】
八戸市教育委員会
教育指導課実践支援グループ
主任指導主事 馬渡 正仁
TEL 43-9519(直通) FAX 47-4997
E-mail umarex@hec.hachinohe.ed.jp



広域的体験学習支援事業「発見！ふるさと体験隊(はっふる隊)」
で利用可能なバス会社について

No	会社名	連絡先
1	三八五バス株式会社	〒031-0801 八戸市江陽二丁目18-37 TEL 0178-24-3331 FAX 0178-44-6018
2	三八五交通株式会社	〒031-0072 八戸市城下四丁目19-15 TEL 0178-24-3335 FAX 0178-44-3529
3	岩手県北自動車株式会社 南部支社(南部バス)	〒031-0023 八戸市大字是川字二ツ屋6-79 TEL 0178-20-0160 FAX 0178-45-4416
4	株式会社 北日本中央観光バス	〒039-1201 三戸郡階上町大字道仏字耳ヶ吠8-1 TEL 0178-88-1515 FAX 0178-88-5450
5	株式会社東北都市交通	〒039-1202 三戸郡階上町大字赤保内字外平23-43 TEL 0178-80-7925 FAX 0178-80-7926
6	寺下運輸倉庫株式会社	〒039-2155 おいらせ町木ノ下西797-2 TEL 0178-56-4611 FAX 0178-56-2941
7	十和田観光電鉄株式会社	〒034-0001 十和田市稲生町17-3 TEL 0176-23-3132 FAX 0176-22-7731

【担当】

八戸市教育委員会

教育指導課実践支援グループ

主任指導主事 馬渡 正仁

TEL 43-9519(直通) FAX 47-4997

E-mail umarex@hec.hachinohe.ed.jp

FAX 送り状

はっふる隊(発見！ふるさと体験隊) 広域的体験学習支援事業バス申込書



令和 年 月 日

【送り先】利用バス会社名 (○をつけてください)

・三八五バス	(FAX 0178-44-6018)
・三八五交通	(FAX 0178-44-3529)
・南部バス	(FAX 0178-45-4416)
・北日本バス	(FAX 0178-88-5450)
・十和田観光	(FAX 0176-22-7731)
・寺下運輸バス	(FAX 0178-56-2941)
・東北都市交通	(FAX 0178-80-7926)

【発信者】

・学校名	立	学校
・担当者氏名		
・連絡先	TEL ()	—
	FAX ()	—

【申込み内容】

実施日	令和 年 月 日 (曜日)
予定時間	出発時刻 : ~帰着時刻 :
行き先	
学年・利用人数	学年 (名) 引率者 (名)
希望台数	台 (大型・中型・小型)
その他	

【記入例】

広域的体験学習支援事業（はっふる隊）事業

乗車証明証

○月○日（○曜日） ○○○立 ○○○学校 ○学年

バスの種類	台数
大型	1台
中型	台
小型	台

バス会社の名称	
---------	--

○上記項目は、各バス会社が記入します。

学 校 確認欄	_____ 学校
	担当氏名 _____

○引率の教員は、内容を確認の上、署名をお願いします。

広域的体験学習調査票（計画書・報告書）データ（E x c e l）は、以下の場所にも掲載しますので、ご活用ください。

(1) 八戸市内小中学校

・ G o v a t t のフォーラム「教育指導課」

→ 「実践支援G関係」

→ 「4はっふる隊申請書関係」

→ 「令和6年度はっふる隊関係資料」

(2) 三戸郡・おいらせ町の小学校

・八戸市教育委員会ホームページ(<http://www.hachinohe.ed.jp/>)

→ 「教育指導課」

→ 「はっふる隊申請書関係2024」